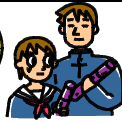


眉をあげて



校長室便り 座間市立西中学校
第19(53)号 校長 牧野 淳志
令和5年3月23日発行

第54回 卒業証書授与式



3月8日(水)3年生が巣立ちの日を迎えました。今年も在校生は参加ができなかったのですが、卒業式の様子を校長の主観でお知らせしたいと思います。

司会田中先生の「卒業生入場」の言葉で(威風堂々)の曲が流れる中、卒業生が入場です。厳かに堂々とした入場でした。教頭先生の「開式の言葉」に続いて鈴木崇・杉山先生の指揮・伴奏で「君が代斉唱」。続いて、____さんの指揮、____さんの伴奏で「校歌斉唱」西中学校で歌う最後の校歌、久しぶりに響く生の校歌に式の雰囲気も高まります。そしていよいよ「卒業証書授与」一人ひとり様々な思いで過ごした中学校生活、体育館中に響き渡る返事をする生徒、視線や言葉で感謝を伝えてくれる生徒、中には目を潤ませている生徒もいて、私も一人ひとり祝福の言葉を掛けながら、思わず目が潤んできてしまいました。一人ひとりの名前を呼ぶ担任の先生方も、思いを抑えきれず、声を詰まらせていました。(自分の呼名が終わると号泣している先生も……)。その感情のまま「学校長式辞」。生徒のすすり泣きの声が聞こえ、終盤堪えきれずに声が詰まってしまいました(申し訳ない)、最後はこんな言葉で締めくくりました。「西中学校はこれからもずっと君たちの母校です。西中で学んだことに誇りを持って、新しい生活でも大いに力を発揮してください。ここにいる全ての人が、また、ここには来られなかった在校生を含め、多くの人たちが、君たちの卒業を祝福し、君たちの活躍を心から願っています。眉をあげて！更なる高みを目指してください。卒業おめでとう！」

続いてPTA会長の「祝辞」温かい励ましの言葉をいただきました。「祝電披露」の後、式はクライマックスへ、「送辞」では、生徒会長____君が、後輩として、大いなる感謝の気持ちと後を引き継ぐこれからの決意をしっかりと伝えてくれました。「答辞」では____さんが3年間の思いを込め、感動的な別れと旅立ちの言葉を贈ってくれました。これまで学校を支えてきた____さんらしい穏やかさの中にも芯の通った言葉でした。そして、____君の指揮、____さんの伴奏で「卒業生の歌～旅立ちの日～」の合唱。本当に素晴らしかったです。マスク越しでも感動がひしひしと伝わりました。先生方もここで涙腺崩壊。

「卒業生退場」(3月9日)の曲が流れる中、最後の一人まで、堂々と退場し、卒業式を締めくくりました。

式後は、各教室で学活。クラス最後の時間を涙あり笑いありの中で過ごしました。

そして……、令和4年度卒業生青学年177名は、西中学校を巣立っていきました。

